

JICA有償資金協力事業（JICA有償資金協力部門への出資）

事業の目的

- 国際協力機構（JICA）有償資金協力部門への出資を通じ、同部門の中長期的な財務の健全性を維持し、開発途上地域のニーズに応える有償資金協力業務（円借款等の出融資）の持続的な実施を確保。

現状把握、課題

- 円借款等を実施するにあたって、適切な事業規模の確保、他機関との連携及び必要に応じた制度改善等を通じて、その効率的・戦略的な活用を図る。

インプット （資源）

- 予算の確保
令和2年度予算
：466億円
- ※ 令和3年度予算
：470億円

アクティビティ （活動内容）

- JICA有償資金協力部門への出資
- JICA有償資金協力部門への出資を通じ、同部門の中長期的な財務の健全性を維持し、開発途上地域のニーズに応える有償資金協力業務の持続的な実施を確保。

アウトプット （活動目標）

- JICAによる円借款等
 - 開発途上地域の政府等に対して長期かつ低利の譲許的条件で有償の資金供与（円借款等の出融資）による協力を実施。
- 【出融資実行額】
令和2年度実績
：14,387億円
※ 令和3年度活動見込
：15,000億円

アウトカム （成果目標）

- 開発途上国における経済インフラの整備、社会開発の推進
 - 途上国の経済・社会発展に資する事業の推進。
 - ・インフラの整備（道路、鉄道、発電所、上下水道設備等）
 - ・保健医療システムの整備
 - ・政策・制度改革の実施 等
- 【成果目標】
○ JICA事業評価年次報告書における事後評価（外部評価）の対象案件のうち、総合評価でB以上の評価を受けた案件が8割。
- 【成果実績】
 - ・平成30年度 87.5%
 - ・令和元年度 70.6%
 - ・令和2年度 90.3%

インパクト （政策効果）

- 開発途上地域の経済及び社会の開発、復興、経済の安定への寄与及び国際経済社会の健全な発展